

令和3年1月1日（第1報）

佐賀大学医学部附属病院をご利用の皆様、地域医療関係者の皆様

この度、本院の職員1名が新型コロナウイルス感染症に感染したことが、令和2年12月31日19時に判明しました。

本院としては、PCR検査の段階から佐賀中部保健福祉事務所に相談しておりましたが、感染の判明後、速やかに病院長及び新型コロナウイルス感染対策本部長をはじめ、関係者と協議を重ねるとともに、当該保健福祉事務所の指導の下、緊急に必要な対応を開始しております。

具体的には、以下のことを実施しています。

- ① 後に感染者と判明した者と、当該職員が接触した日から陽性反応が出た日までに濃厚接触したと思われる職員等を特定し、速やかにPCR検査を実施
➤令和3年1月1日現在 濃厚接触者全員を含む職員等33名全員の陰性を確認
- ② 当該職員と濃厚接触のあった職員については、1月1日から10日間は、自宅において経過観察とします。

皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたします。

引き続き、佐賀県等関係機関及び佐賀中部保健福祉事務所と連携を図りながら職員が一丸となり、適切な対応を行ってまいります。

今回、新型コロナウイルス感染が判明した職員の業務範囲は、特定の区画に限定されており、それ以外のフロアに入ることはありません。従いまして、現在、入院して療養・治療を行っている皆様方には、何ら感染の危険性は無いと判断しています。

【今後の対応】

職員は、県外への移動や会食は自粛するとともに、医療従事者として、引き続き自覚ある行動を周知徹底してまいります。

佐賀大学医学部附属病院長

山下 秀一